

たけた 市議会 だより

<https://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>

No.60

令和3年2月1日発行



題名「冬の日に」

写真提供者

しんこのみ
秦 鼓乃実

2003年生まれ 竹田南高校3年生

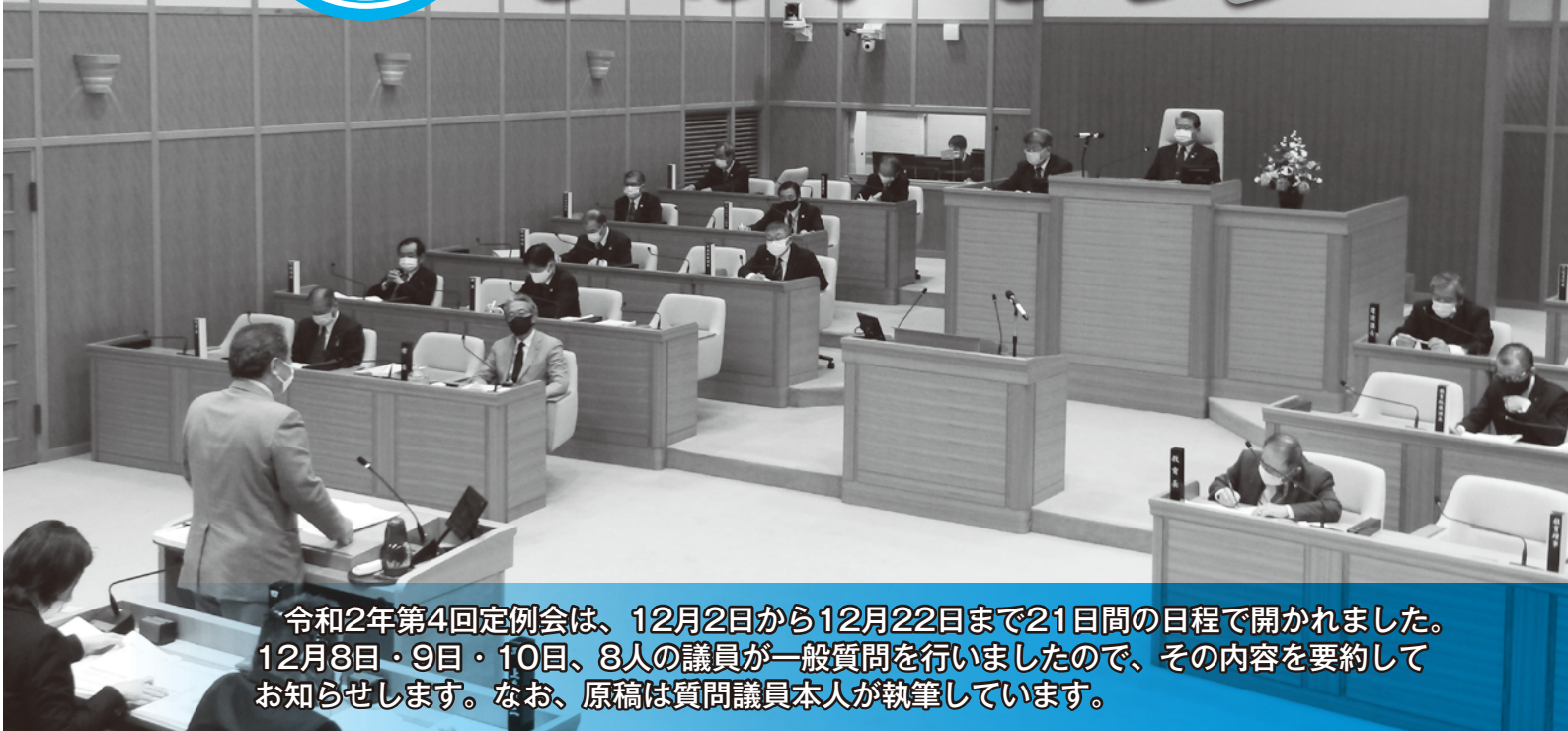
Profile

大分市出身
女子サッカー部に所属し、3年間サッカーと勉強の
両立に頑張りました。卒業後も仕事をしながらサッ
カーを続けます。

- 一般質問 2～6
- 予算特別委員会 7
- 第4回定例会等の議決結果 8～9

一般質問

市政を問う



令和2年第4回定例会は、12月2日から12月22日まで21日間の日程で開かれました。12月8日・9日・10日、8人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

第2期竹田市地方創生TOP総合戦略とSDGsについて



阿部 雅彦

問 総合戦略とSDGsの関連は。

企画情報課長 持続可能な社会にするための目標を生かして、人口減少と少子高齢化が進む竹田市の地域活性化の原動力にしたい。

問 再生可能エネルギーの取組に、どのように生かしていくのか。

企画情報課長 安価で信頼できるエネルギーを多くの市民に届けると同時に、防災機能の強化にも活用したい。

問 バイオマス産業都市を推進する新たな部署を設ける必要があるのではないか。

市長 専門職の育成は難しく、行政と民間が力を合わせる必要がある。世界に通用する知識や経験を持つ人材の育成が鍵と考える。国や県と連携し、対応策を練りたい。

※SDGsとは…2015年国連サミットで採択された、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

竹田市歴史的風致維持向上計画と都市計画について

問 竹田市歴史的風致維持向上計画の今後の取組は。

まちづくり文化財課長 総合文化ホール、歴史文化館などを生かしたソフト事業の推進と、文化財保存活用地域計画を推進したい。

問 都市計画区域となっている豊岡地区・松本地区・玉来地区の、今後のまちづくりの方向性をどのように考えているのか。

建設課長 来年度に都市計画マスタープランの見直しを行ない、まちづくりの方針を示していきたい。

オペラ「マダム・バタフライ」を生かした取組について

問 グランツたけた廉太郎ホールで開催されたオペラ「マダム・バタフライ」の総括と、今後の文化振興への活用は。

総合文化ホール館長 来場された多くの観客などから高い評価を受けた。今後は、竹田版マダム・バタフライプロジェクトを通して、多くの市民と共に、音楽の町・竹田にふさわし

い地域発の事業に仕上げていきたい。



7月豪雨災害の査定状況と今後の見通しについて

問 災害指定を受けた農地及び農業用施設等の災害復旧工事の発注見込みと、災害復旧完了の予定を問う。併せて、一級河川（県土木事務所管）災害復旧工事の施工と同時に、隣接する災害箇所を随意契約で同一業者により施工できるように、県と協議を進めて早期復旧を図れないか問う。

農林整備課長 12月18日にすべての災害査定が終わるので、早々に設計書の作成に入り、農業用施設（頭首工・水路・農道）を中心に1月末には随時工事発注を行う。また、県土木事務所所管の一級河川災害発注が、11月より随時行われている。河川災害箇所の近くにある農地・農業用施設災害については、受注された業者の理解を得て随意契約を結び、早期

の災害復旧に努める。

問 7月豪雨災害の被災箇所で、県管轄河川（一級河川）と市管轄河川（準用河川）のどちらにも属さない河川がある。現状のまま放置することとは望ましくないと考えるが、市の考えを問う。

建設課長 どちらにも属さない河川は2種類ある。一つは、個人の所有する山林などに自然発生的にできた溪流や水路。もう一つは、筆があるが字図上番地がない法定外公共物といわれる水路。放置することで下流域へ甚大な被害をもたらす危険性がある場合は、防災の視点から県等と協議して砂防や治山工事等の公共事業に取り組む必要があると考える。それ以外の維持的要素が主な場合は、それぞれの所有者または管理者が行うものと考え。具体的には、個人所有の山林などにある溪流や水路は、農業用水路として改良区や地元水路組合が管理している場合があるが、その場合は土地所有者と管理者との協議になると考える。また、法定外公共物の水路は、竹田市法定外公共物の管理に関する条例により「機能管理は関係する自治会及び利用者が

行うもの」となっているが、水路の所有者や管理者がわからない場合は支所や本庁に相談し、対策について協議してほしい。



バイオマス産業都市構想について

問 どのような構想か。

企画情報課長 昨年10月末に国から認定を受けている。燃料製造、熱利用、竹利活用という3つのプロジェクトを推進する。

問 竹楽は、まさに里山保全の取組である。百年後を見据えて里山を整備し、その竹の利活用が竹楽である。今年はコロナ禍で中止になったのだが、竹林伐採業者が密になることが主な中止理由であった。竹楽を主催するNPO法人との連携は。

企画情報課長 NPO法人里山保全竹活用百人会と、実効性のあるスケジュール等を検討してきた。

問 燃料製造については、チップ工場の誘致計画がある。進捗状況は。

企画情報課長 具体的なチップ製造工場やバイオマス発電の企業進出が定まった段階で、推進組織を設置する。

問 チップ工場設立を希望する企業は何社があるが、公募はいつするのか。

企画情報課長 この構想において、市が直接施設整備を行うことは考えていない。

インフラ整備について

問 光ファイバー網は、どの程度整備されているのか。また、速度が遅い等の不具合を市民から聞く。原因は。

ケーブルネットワークセンター長 人家があるところには整備されていて、ほぼ全市的に網羅されている。不具合の原因が多岐に及ぶので、切り分けて対処している。

問 5Gの普及が待たれる。農業や医療、教育分野で画期的な未来が創造できるのではないか。竹田市ではどのような研究を進めているのか。

ケーブルネットワークセンター長 農業では実証実験が行われている。仕組みやサービスを見極めながら検

討していく。

※5Gとは…第5世代移動通信システムの略で、現在の4Gと比べ、より高速で大容量の通信が可能

問 久住地区に医療・介護や市民課機能を融合したコンビニエンスストアを整備できないか。

企画情報課長 社会に欠かせない仕法の一つと考える。医療や福祉機関との連携は出店の可能性を高める方策であろうし、地域の高齢者の利用も望めるであろう。民間の事業者が挑戦するならば応援してみたい。



佐藤 美樹

赤字状態が続く花水月の再生について

問 花水月のあり方に関する市民アンケートを実施した結果は。

商工観光課長 来館者532人が回答（11／24時点）。新しい事業展開や営業時間短縮、民間売却などで存続を望むという回答が大半で、閉館してもよいという回答は1%未満であった。

問 今後の運営について、どのような検討をしているのか。

商工観光課長 運営継続を念頭に、指定管理を模索している。今年度中に方針を示したい。

交通施策について

問 10月に行った交通実証実験について、考証を聞く。

企画情報課長 城下町では、グリーンスローモビリティを走らせる実験を行った。予約方法やコース設定に問題があった。特性としてはエコで小回りが利き、観光利用に適すると考える。久住地域では、観光施設間をつなぐバスを週末のみ運行する実験をした。利用者の感想は高評価で、運用について検討を進める。

問 高齢者の交通支援について、地域内扶助で補えない地区をどうするのか。デマンド交通を拡充するべきと考えるが、市の方針は。

企画情報課長 来年度に地域公共交通計画を策定する。地域ごとに最適な交通手段を模索し、デマンド交通の拡充を検討する。

※グリーンスローモビリティとは…時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の電動車両

子どもの貧困問題について

問 食に窮する子どもがいる。子ども食堂や宅食を推進するべきであると考え。ボランティア人材育成や地域団体の協力要請、運営資金の支援をする考えはないか。

社会福祉課長 民間団体等から子ども食堂や宅食事業を開始したいとの声があれば、支援を検討する。

問 困窮家庭には、親の就業支援、医療支援、生活全般の見守り、子どもの居場所づくりと多面的なサポートが必要であるが、包括的な支援が行き届いているか。

社会福祉課長 困窮家庭の支援業務を市社会福祉協議会が担い、社会福祉課には子育て世代包括支援センターを設置した。多機関の協働による包括的支援体制の構築を進めている。



山村 英治

国営大蘇ダム漏水対策について

問 阿蘇市、産山村の関係者は、完

工式への出席を控えることで、ダム貯水機能の欠陥に対する意思表示をしたと聞いている。この市村の意思表示に対して、竹田市の見解を問う。

市長 それぞれの自治体で判断したことなので、そのことについて見解を申し上げることはないと思う。竹田市は11月24日の午後4時に、九州農政局からダムの現況の説明を受けた。その内容は、国の責任において、浸透の原因究明を行っているが、その調査結果がでたら、関係者に国から直接説明を行う。来春の用水利用については、問題が起こらないように対応していきたいということだった。浸透量の変動について原因が不確定のまま、皆さま方関係者に知らせることは困難をきたし、まして国は翌日に完工式を行うということを決めていることから、それを受け止めて竹田市は完工式に臨んだ。竹田市は、早い時期から浸透についての説明を九州農政局に求めていた。説明の中で、大蘇ダムは農業用のダムであり、用水として必要なときは、必要な用水を取水していくことが目的であることから、来春については貯水の見通しのシミュレーションを

行った結果、用水の供給は可能であるとの説明を受けた。浸透原因の究明後に、新たな工事が必要になった場合、竹田市は追加工事の負担は行わないと伝えた。今後については、

関係土地改良区、自治体、大分、熊本両県と情報共有を図り、浸透原因の究明結果と、来春の用水利用に関して、早い時期に説明をするように強く要請した。ダムの管理は、ダム機能が安定するとか、用水供給が安定するとか確認できるまで、しばらくの間、国が責任を持って国直轄方式に似た形で行うという約束を取り付けてある。明日、専門家が現地にきて、私どもの立会いのうえで、調査をすることになっている。



竹田市事業継続支援金について

問 この制度はコロナ禍に対する市内各事業者への支援制度であるが、今までの支援状況を問う。

商工観光課長 事業者の経営安定と

持続化などを図る制度で、支援決定数は11月末で187件（市内業者の17%）、交付金総額は4,516万円に達している。

持続化給付金について

問 持続化給付金は農林漁業、製造、飲食、小売業など幅広い業種を対象とした国のコロナ禍支援制度であるが、個人農家を例に挙げれば、インターネットによる給付申請の方法が主であるため、高齢農家にとっては申請が困難と聞く。市の指導・支援はないのか問う。

農政課長 農業者については、大分県農協豊肥事業部が電子申請のサポートを随時実施している。市としては、市報・ホームページ・告知放送等で申請支援窓口の案内を行っている。

コロナ禍における学校現場の1年単位の変形労働時間制について

問 この制度の取組状況と、変形労働時間制導入のための条例づくりの状況を問う。

学校教育課長 パソコンのタイムカード機能で、出退勤の管理や時間外

勤務を客観的に把握。また、業務改善が進み、昨年度よりも時間外勤務時間を減らしている。条例づくりについては、県や他の市町村教委の様子も見ながら、教職員との協議を含め、改正に向け検討中である。

大型公共物建設に伴う諸問題への対応について

問 竹田市立図書館の建設に関し、周辺住民に与えた諸影響・諸問題について、調停裁判を予定している住民がいる。この件に関して市側に問題がなかったかを問う。

教育総務課長 いただいた苦情等については、その都度工事現場の責任者と共に現地を見て、可能な限りの対応をしてきたところであり、重要な案件については顧問弁護士とも協議し、慎重に対応したい。



県道庄内久住線について

問 久住中心部の工事進捗状況は。

建設課長 バイパスからコミュニティセンター付近までは今年度中に

工事が終わり、来年度初頭には供用開始予定と県から聞いている。久住工区全体は令和5年度に完了予定。

問 久住小学校、桐迫団地へと通じる市道南梅木線改良工事の予定は。
建設課長 令和元年から5年間で予定。現在は用地交渉中。

学校統廃合に関するアンケートについて

問 回答総数、結果は。

教育総務課長 未就学児を含め家庭数は315件、405人分。アンケート結果はホームページに掲載。

問 豊岡小は前回のアンケートで統合に賛成が50%を超えていたが、今回はアンケートの対象校から外された。市はあくまでも20人程度という数字にこだわるのか説明を求める。

教育長 豊岡小は人数的にまだ単独校としていけると考え、今回は対象から外した。それぞれの地域の実情によって、その状態が生まれれば考



財政全般について

問 公共施設等総合管理計画がつくられた平成28年当時の総延床面積は261,798㎡、総施設数は311だった。人口1人当たりの面積は10・9㎡で、豊後大野市は8・75㎡、津久見市は5・97㎡、杵築市は6・17㎡、全国平均は3・22㎡だった。最新の数字は。

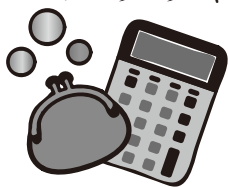
財政課長 総延床面積は255,185㎡、総施設数は302、人口1人当たりの面積は12・2㎡。

問 個別施設計画では総延床面積の40%削減が目標であったが、平成28年から何%削減したのか。

財政課長 2・53%の削減になっている。

問 市民からは「箱物ばかり建てて財政は大丈夫だろうか」という心配と疑問の声が聞こえてくる。それにどう答えるのか。

財政課長 施設の総量削減のため、今ある施設の複合化や転用化を進め、施設の売却など経営的観点の公共施設のマネジメントを行う。



市内企業の雇用状況について

問 コロナ禍以前と以後の企業の雇用状況について聞く。

商工観光課長 以前（平成31年2～9月）の有効求人倍率は1・56倍、以後（令和2年2～9月）は1・34倍で、コロナ禍の前後では特に大きな変化はない。職種により大きな差があり、土木・建築技術が21倍、医療・介護は4・29倍である。

問 本年度は移住希望者が多いとの新聞報道があったが、就職希望についての状況はどうか。

企画情報課長 11月末の移住希望登録者数88名についての希望職種は、農業28名、自営15名、医療7名、会社員8名、高齢のため希望しない9名、芸術その他が21名である。

問 例年実施している合同企業就職相談会の参加企業は19社である。医療及び介護職が半数以上で、技術者不足の土木建築関係は2社である。実施結果はどうか。

社会福祉課長

過去5年間で12回実施し、1回当たりの参加企業数は24社で、参加者数は約18人である。社会福祉協議会が主催し、生活困窮者自立支援事業として実施されている。

問 市内商工企業への就労に対する市の取組が弱いのではないかと。特に新規学卒者への対応はどうか。

商工観光課長 各分野の補助金制度はあるが、横の連携が乏しい。新規学卒者への対応は、企業の努力に任せている状況である。

問 新規学卒者等の市内での就労に就職支度金制度は考えられないか。

市長 補助制度はある。横の連携を密にし、情報発信をしていく。

ウェイクボード事業について

問 小中学生を対象に体験学習として利用していると聞くが、実態はどうか。

直入支所長 平成29年度、30年度に実施している。

問 上流からの河川水の流入を考え、たとき、遊泳する場合のダムの水質検査が必要ではないか。

直入支所長 管理者の芹川井路土地改良区では実施していない。遊泳に

対して水質検査の義務付けはないと保健所の見解である。教育委員会と相談し、状況により実施を考える。このほかに、「有害鳥獣捕獲報償金」について質問した。



第4回定例会 令和2年度 一般会計補正予算

可決

5億815万1千円 増額 (総額: 275億1,799万9千円)

令和2年第4回定例会・予算特別委員会が12月14日・22日の両日開催され、付託された一般会計予算を慎重審査した結果、賛成多数で可決されました。(令和2年度竹田市一般会計補正予算(第11号)を含む。)

【補正予算の概要】

【歳出】

◆総務費

ふるさと納税に伴う返礼品に係る経費	2億1,062万6千円
ふるさと竹田応援基金積立金	1億3,434万5千円
一般財団法人出捐金	1,000万円

◆民生費

障害者自立支援事業	3,700万円
障害児放課後等デイサービス事業	1,000万円
ひとり親世帯臨時特別給付金事業に伴う経費	630万7千円

◆農林水産業費

地域用水環境整備事業	2,065万円
農林水産業施設等復旧支援事業	1,061万4千円
県営中山間地域総合整備事業負担金	8,230万円
県営農地整備事業等負担金	5,265万2千円

◆商工費

第2次小規模事業者等経営維持支援補助金	3,000万円
プレミアム付商品券事業補助金	3,800万円

◆土木費

市道維持補修工事請負費	7,150万円
-------------	---------

◆教育費

総合運動公園施設改修工事請負費	2億8,102万3千円
-----------------	-------------

◆災害復旧費

農地災害復旧費	△7,700万円
農業用施設災害復旧費	△3億7,600万円

◆公債費

長期債元金償還金	△1億円
----------	------

【歳入】

分担金及び負担金	2,173万7千円
手数料	4万2千円
国庫支出金	1億7,536万6千円
県支出金	△3億9,483万5千円
財産収入	2,037万5千円
寄附金	3億5,000万円
諸収入	33万円
市債	3億1,750万円
基金繰入金	1,763万6千円

「STOP コロナ差別」

正しい理解を



心ない言動で傷ついている人がいます。
差別・偏見のない竹田市にしましょう。

竹田市人権・部落差別解消推進課

令和2年 第4回定例会

令和2年12月2日～22日
議案等の議決結果

議
決
結
果

条 例 案		
議案番号	件 名	結果
議案第133号	竹田市国民健康保険税条例の一部改正について	可 決
議案第134号	竹田市指定居宅介護支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可 決
議案第135号	竹田市直入高齢者生活福祉センター条例の廃止について	可 決
予 算 案		
議案番号	件 名	結果
議案第124号	令和2年度竹田市一般会計補正予算(第10号)について	可 決
議案第125号	令和2年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第126号	令和2年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第127号	令和2年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第128号	令和2年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第129号	令和2年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第130号	令和2年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第131号	令和2年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第132号	令和2年度竹田市水道事業会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第140号	令和2年度竹田市一般会計補正予算(第11号)について	可 決
一 般 案		
議案番号	件 名	結果
議案第136号	竹田市ケーブルネットワーク施設の指定管理者の指定について	可 決
議案第137号	竹田市営駐車場の指定管理者の指定について	可 決
議案第138号	竹田市荻農産加工所の指定管理者の指定について	可 決
議案第139号	竹田市総合社会福祉センターの指定管理者の指定について	可 決
議案第141号	動産の買入れについて	可 決
議案第142号	竹田市久住高原荘の指定管理者の指定について	可 決
陳 情 ・ 意 見 書 案		
議案番号	件 名	結果
陳 情 第 1 号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情	採 択
意見書案第5号	地方たばこ税の一部を受動喫煙防止のための分煙環境整備・推進に活用することを求める意見書	可 決
意見書案第6号	大蘇ダムの農業用水の確保及び浸透事象に関する原因究明を求める意見書	可 決

賛否一覧表

※賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号・件名		議員名(議席番号順)																	審議結果
		首藤健二 郎	佐藤市蔵	上島弘二	佐藤美樹	鷺司英彰	山村英治	阿部雅彦	渡辺克己	井英昭	徳永信二	日小田秀之	坂梨宏之進	加藤正義	吉竹悟	本田忠	佐田啓二		
議案第124号に関する修正案				○		○	○		○	○						○	—	否決	
議案第124号	令和2年度竹田市一般会計補正予算(第4号)について	○	○		○			○			○	○	○	○	○		—	可決	

表の見方…○：賛成、—：除斥、欠席などにより表決に加わっていない。※議長は表決に参加しないため、表決結果は「—」。

令和2年 第3回臨時会

令和2年10月30日
議案等の議決結果

条 例 案		
議案番号	件 名	結果
議案第98号	竹田市企業立地促進条例の制定について	可 決
議案第113号	竹田市国民宿舎久住高原荘条例の一部改正について	可 決
予 算 案		
議案番号	件 名	結果
議案第112号	令和2年度竹田市一般会計補正予算(第8号)について	可 決
一 般 案		
議案番号	件 名	結果
議案第114号	動産の買入れについて	可 決

令和2年 第4回臨時会

令和2年11月27日
議案等の議決結果

条 例 案		
議案番号	件 名	結果
議案第121号	竹田市議会議員報酬及び費用弁償条例の一部改正について	可 決
議案第122号	竹田市長及び副市長の給与に関する条例等の一部改正について	可 決
議案第123号	竹田市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可 決
予 算 案		
議案番号	件 名	結果
議案第115号	令和2年度竹田市一般会計補正予算(第9号)について	可 決
議案第116号	令和2年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第117号	令和2年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第118号	令和2年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第119号	令和2年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第120号	令和2年度竹田市水道事業会計補正予算(第2号)について	可 決
決 算 認 定 案		
議案番号	件 名	結果
認定第2号	令和元年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第3号	令和元年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第4号	令和元年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第5号	令和元年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第6号	令和元年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第7号	令和元年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第8号	令和元年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第9号	令和元年度竹田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第10号	令和元年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第11号	令和元年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定



感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのぼすようにこすります。
- 3 指先・爪の間に念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらをねじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する（口・鼻を覆う）
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う



何もせずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用

- 1 鼻と口の両方を確実に覆う
- 2 ゴムひもを耳にかける
- 3 隙間がないよう鼻まで覆う



咳やくしゃみを手でおさえる



■ 詳しい情報はこちら

厚生労働省

検索



出典：首相官邸HPより

たけた市議会だよりも数えて60号になりましたが、令和2年は思ってもみなかった1年でした。新型コロナウイルス感染症に関するニュースとその対応に追われ、議員諸氏もコロナ対策の意見をたくさん交わしましたが、今も収束どころか第3波が激しく列島を覆っています。早期の収束を願うばかりです。

さて、先日新装となった歴史文化館・由学館に出かけました。開館記念式典に次ぐ2度目の見学でしたが、岡城の歴史と周辺の詳しい図面や屋敷跡など、時間をかけ堪能しました。自分が高校の頃の岡城西の丸は、孟宗竹の藪で荒れていまし



行政の役割

た。エレベーター経由で見学した旧竹田荘も、田能村家がよそに移った後、荒廃していたそうですが上角の草刈樵谷氏らによる努力や行政により整備され、現在の国指定の史跡・旧竹田荘になったというのです。これらの文化財の保護管理には、行政の仕事と市民の関心や協力が大事であることを感じました。

最後に、12月も終わる頃、慶順川が稲葉川に流れ込むところで、河川の清掃（葦の片づけ）が県土木事務所の手で行われていました。これも行政の役割です。

編集委員長 上島 弘二